

# 科目区分：人間科学科目

授業科目名	人間の科学（胎児、子どもの病気の病態と倫理）				学期	曜日	校時
英語名	Human Sciences (Diseases and ethical problems of fetuses and children)						
担当教員名	近藤 達郎 上玉利 彰 津留 陽	単位数	2 単位	必修 選択	選択	後期 金曜日	4 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>ヒトは母親の胎内にいる胎児の時期を通じて誕生する。それから新生児、乳児、幼児、学童・・・と成長していく。生まれてくる時に既に重篤な病気を伴っていることもあるし、小児期にも様々な病気にかかることもある。場合によっては虐待など本来の病気とは若干異なる病態もあり得る。その中に、実に様々な倫理的問題を含んでいることがある。私達は自分達の人生を送る上で、方向性に迷う出来事に遭遇することは十分にあり得る。今回は、病気を通しての諸問題を様々な角度から考えることを目的とする。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
<p>参考資料として 遺伝カウンセリングの倫理する ケーススタディー （長崎遺伝倫理研究会 編 診断と治療社 2005年初版）</p>							
対象学生	成績評価の方法				教員研究室		
全学部	<p>授業への参加状況（30%） レポート（70%） * レポートに関しては、毎回各担当教員が講義内容について各々出題（計 15 題：近藤 30%、上玉利 20%、津留 20%）</p>						
授 業 計 画							
<p>第 1 回～第 15 回までのうち、近藤が 7 回、上玉利・津留が各 4 回を担当。</p> <p>各回の担当者は、第 1 回目に報告。第 1 回目（担当：近藤達郎）はオリエンテーションも行う。</p> <p>第 15 回目（担当：近藤達郎）は総まとめも行う。</p> <p>近藤は、主に胎児期、小児期の遺伝性疾患を取り巻く諸問題（生命倫理的問題も含む）を中心に講義を行う。</p> <p>上玉利は、小児のガンと血液疾患に関しての種々の問題を中心に講義を行う。</p> <p>津留は、胎児から小児期中枢神経系の発達と疾患に関しての問題点を中心に講義を行う。</p> <p>各々の、担当者の講義が終了した段階でレポート課題を発表する。</p>							
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：特に設けず、電子メールにより受け付ける。 （ メールアドレスは <a href="mailto:nagasaki-genetics@umin.ac.jp">nagasaki-genetics@umin.ac.jp</a> ）</p>							